

# 平成21年度 女性のチャレンジ賞 受賞者（全6件） 1/2

氏名(団体名)	所属	都道府県	賞 罰	活 動 内 容
特定非営利活動法人 NPOカタリバ (代表理事: <small>いまむら く</small> 久美) (団体)	-	東京都		2人の女子大学生が、自分の経験をもとに学生たちに最初の一步を後押しするきっかけづくりが必要と考え始めた活動である。活動の中心は、大学生や専門学校生を中心としたボランティアスタッフが自らの経験や体験を基に高校生と直接対話するキャリア教育授業、いわゆる「カタリ場」である。活動の結果、最近では「カタリ場」を生徒指導の一環として積極的に授業に組み込む高校が増加している。また、この活動を通して培ったノウハウを活用し、法人向けにイベント運営や企業研修、人材育成プログラム等を手がけているほか、現場の教師、教育産業関係者、教育問題等に関心が高い社会人、学生などを中心に、勉強会や交流会等のイベントも実施している。
<small>かんだまちよせいとうぎよきかい</small> 荻田町女性農業機械 オペレーターグループ 「グリーンズ」 (会長: <small>にしだ みえこ</small> 西田 美恵子) (団体)	-	福岡県	2007年 第6回福岡県男女共同参画団体賞受賞<福岡県主催>	自ら大型特殊免許や牽引免許、農業機械士の資格を取得した専門的な知識を持つ農業女性たちが2002年に設立したグループである。高齢農業者等が管理できなくなった圃場や、大規模な営農組合では管理が難しい条件の悪い零細農地の農作業を受託するとともに、休耕田を利用した農作物の生産を行ったり、最近では町の特産品であるお菓子の材料の紫芋の契約栽培をして地域の農地保全や農業振興に大きく貢献している。また、地域の小学校で生産から販売まで一貫した体験学習を行う食育活動にも積極的に取り組んでいるほか、地域の子ども達に、地域の食材を使った素朴な郷土料理の素晴らしさやおいしさを体感させることで、地産地消の推進や将来の農業の後継者等の育成にも繋げている。
<small>ますだ きょうこ</small> 増田 恭子 (個人)	富士宮駅前通り 商店街振興組合理事長	静岡県	2006年 平成18年度静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞(チャレンジの部)受賞<静岡県主催>	駅前通り商店街のおかみさんのリーダーシップをとり「おかみさんの会」を結成した。積極的に勉強会を開き、商店街探訪マップの作成をきっかけに、市民の目線で街を楽しむ、月1回の「十六市」の定期開催を実現させるなど、手作りの活動で商店街の活性化に寄与してきた。また、国内最大級の物産展では、富士宮市を焼きそばを通じて全国に広くPRし、地元物産品の魅力発信に努め、「食」においても地域ブランドの確立に貢献した。さらには、子どもの一時的預かりや食育ミニキャンプの実施、空き店舗を活用した授産製品販売と工房、障害福祉サービス事業所と連携した障害児の学童保育等を提供している。このような活動が評価され、静岡県内女性初の商店街振興組合理事長をはじめ、様々な役職に就任している。
<small>みつはた ゆか</small> 光畑 由佳 (個人)	モーハウス代表 (モネット有限会社代表取締役)	茨城県	2007年 第12回ライターズネットワーク大賞「ライフデザイン賞」<ライターズネットワーク主催>	自身の電車内での授乳体験をきっかけに、デザイン性が高く外出時に着用でき、かつ授乳時に肌が出しにくい、実用性を備えた授乳服の製作・販売を始め、2001年に法人化した。会社では、女性の子連れ勤務を実現しているほか、勤務時間・勤務日等の設定を柔軟に運用することで、子育て中の女性が育児と仕事を両立できる就労環境を整えている。また、出産・育児をテーマとしたイベント・セミナー等を開催し、助産師などの育児専門家と母親をつなぎ、より良い出産・育児環境の整備に努めている。さらに、講演やテレビ出演等を通じて、女性が子育てを楽しみ、また子育てと仕事を両立できる新たなライフスタイルの提案も行っている。

## 平成21年度 女性のチャレンジ賞 受賞者（全6件） 2/2

氏名(団体名)	所属	都道府県	賞 罰	活 動 内 容
やまぐち えりこ 山口 絵理子 (個人)	株式会社マザー ハウス代表取締役	埼玉県	2007年「フジサンケイ女性起業家支援プロジェクト2006」最優秀賞受賞<産経新聞社・サンケイリビング新聞社・フジサンケイビジネスアイ主催、大和証券グループ共催>	大学時代に開発途上国支援に興味を持ち、その後世界最貧国のひとつであるバングラデシュ人民共和国に単身で飛び込んだ。そして、現地の素材であるジュートという麻の一種を生かしたバッグを、現地の工場で、現地雇用のスタッフで製品化し、それを日本で販売することで、その国の人々が自立できる体制を目指して「株式会社マザーハウス」を設立した。ビジネスを通じた国際貢献、妥協しない品質・商品基準、地球環境への配慮などの企業理念のみならず、そのデザイン性からも多くのファンを獲得することに成功している。また、若手社会起業家としても注目を集めており、新聞や雑誌などへの掲載や講演等も行っている。
れんごう レディース100年の森 林業グループ (代表:鷹嘴 充子) (団体)	-	北海道	2009年 北海道男女平等参画チャレンジ賞「輝く北のチャレンジ賞」受賞<北海道主催>	不在地主が所有する山林が売りに出されたことがきっかけとなり、10人の女性が山林所有者となって、北海道内初の女性林業グループとして発足した。自ら枝打ちや下刈り作業を行いながら、自己研鑽と地域環境づくりのため森林・林業に関する視察研修を行うとともに、自らの森を会員や他のグループなどとの交流の場にするため「実習林」とし、地場産カラマツを利用したログハウスを建設し、研修の場としている。また、森林ボランティアグループとの植樹や漁協女性部との「お魚殖やす植樹運動」などの他の分野との交流、地域の親子や子どもたちを対象とした森林教室の開催、公共施設等への花壇の設置など、地域環境づくりの活動も積極的に行っている。

## 平成21年度 女性のチャレンジ支援賞 受賞者（全1件）

団体名	代表者氏名	都道府県	賞 罰	活 動 内 容
ざいだんほうじん こうせいねんきん 財団法人 厚生年金 事業振興団 大阪厚 生年金病院 (団体)	院長 せい の よしき 清野 佳紀	大阪府	2006年 第1回につけい子育て支援大賞<日本経済新聞社主催>	出産後、退職を余儀なくされることが多い女性医師等の問題にいち早く取り組み、働きやすい職場環境を整備している。育児休業、出産休暇、子育て支援休暇等の制度を設け、正規職員のみならず研修医などの契約医師や臨時職員にも制度の適用を認めている。また、院内保育所と病児保育室を設置したほか、近隣の保育所と連携して利用できる応援体制をとり、希望者にはフレックスタイム制により残業・当直なしの勤務体制とするなど、多岐にわたる支援を行っている。さらには、充実した研修体制を整え、職員の働く意欲を高めたり、ワーク・ライフ・バランスを考える委員会を設置したりするなど、子育て支援以外の労働環境の整備にも努めている。

# 平成21年度 女性のチャレンジ賞特別部門賞 受賞者（全5件）

## （安心して暮らせる地域づくり）

氏名(団体名)	所属	都道府県	賞 罰	活 動 内 容
いきまっせ！ しょうひしゃけいはつ 消費者啓発グループ 「てくてく」 (代表: 谷 京子) (団体)	-	兵庫県		高齢者が悪質な訪問販売のターゲットになり、消費者被害に遭うケースが後を絶たないことから、被害を未然に防ぎ、消費生活の主体者としての自立支援を目指して、兵庫県川西市消費生活センターと協働で、高齢者や高齢者を見守る立場の人を対象とした出前講座を実施している。講座は、演劇を取り入れ、高齢者にも分かりやすく楽しみながら学習できるように工夫している。これまでの実績は延べ100回を超え、毎年2月に行う新作発表会では、会場が満席になる程の来場者があり、飽きさせない進行で大いに盛り上がりを見せている。また、兵庫県くらしのクリエイター活動やテレビ出演などを通して、全国に向けての消費者啓発にも多大の貢献をしている。
かめい しずこ 亀井 静子 (個人)	特定非営利活動 法人生ゴミリサイ クル亀さんの家 理事長	三重県		看護の仕事一筋の生活を送っていたが、50歳を過ぎた頃に自宅を「宅老所」として地域のお年寄りの憩いの場に開放した。自由楽しく集まるだけでなく、できればお年寄りに生き甲斐を感じてもらいたいという思いから、生ゴミの堆肥化に挑戦し、2004年NPO法人を発足させた。その後、堆肥を使っての有機野菜作りにも取り組み、出来た野菜を地元のレストランや直売所などに販売し、売上を会員であるお年寄りに還元することで、より一層の生き甲斐とすることに成功している。また、最近はお年寄りとともに地元の小学校への環境出前授業を行うなど、地域においてお年寄り子どもたちとがふれあう機会も提供している。
特定非営利活動法人 さんかくナビ (理事長: 貝原 己代 子) (団体)	-	岡山県		DV対策に取り組み、民間シェルターの運営、DV相談の実施、DV被害者及び同行児童等の支援活動、DV被害者の支援者の育成のほか、自助グループの運営、被害者を対象としたIT技術講習の実施、DV防止・被害者支援等に関する各種講演活動等、様々な活動を実施している。特に、早い時期からデートDV被害者支援と予防啓発活動に力を入れており、弁護士や医療関係者等とともにグループを立ち上げ、研究事業による実態の把握、若者に身近なインターネット掲示板を活用した相談の継続実施、教育現場での講演等の活動を展開している。
みかみ きみこ 三上 公子 (いしき きみこ) (石木 公子) (個人)	特定非営利活動 法人生き粋あさ むし事務局長	青森県		保健師だった行政での経験を生かしながら、NPO法人の事務局長として、ヘルシーコミュニティ形成に取り組んでいる。特に、NPO活動におけるコミュニティレストラン「浅めし食堂」は、栄養バランスのとれた日替わりメニューと温かい雰囲気により近隣の高齢者が多数利用し、地域の食文化の伝承、高齢者の憩いの場づくり、地産地消等の面で貢献している。ほかにも、地域子ども教室、高齢者・障害者世帯などへの弁当配達、遊休農地を利用した「いきいき農園」、ヘルシーツアー等を手がけるなど、「健康」をキーワードに地域が求める活動を幅広く展開している。さらには、全国の保健師を対象とした研修や講演活動を各地で実施し、専門雑誌への掲載も行っている。
よしむら うさぎ 吉村 憂希 (個人)	特定非営利活動 法人青少年育成 審議会JSI理事 長	大阪府	2004年 青少年指導者育成賞 (感謝状) <財団法人ソロプチ ミスト日本財団主催> 2006年 社会ボランティア賞 (感謝状) <財団法人ソロプチ ミスト日本財団主催>	コンビニにたむろする子どもたちの相談にのったことがきっかけとなり、止まり木となる自立支援のフリースクール等を作り、2000年にはNPO法人を結成。「まちづくりはひとづくり」という理念に基づき、子育て支援や子どもの自立支援、青少年健全育成、防犯や防災のための諸活動を展開することにより、心豊かで安全かつ安心できるまちづくりを担う、全世代にわたる「市民の自立」のための総合的支援を行っている。具体的には、地域と子どもたちを繋ぎ、あいさつや交通マナー、災害時の避難方法を学ぶプログラムの実施、救命指導、子育てや健全育成のための地域力向上やサークル支援、問題解決のためのプラン作り、啓発のための講演や講座を全国各地で展開している。